

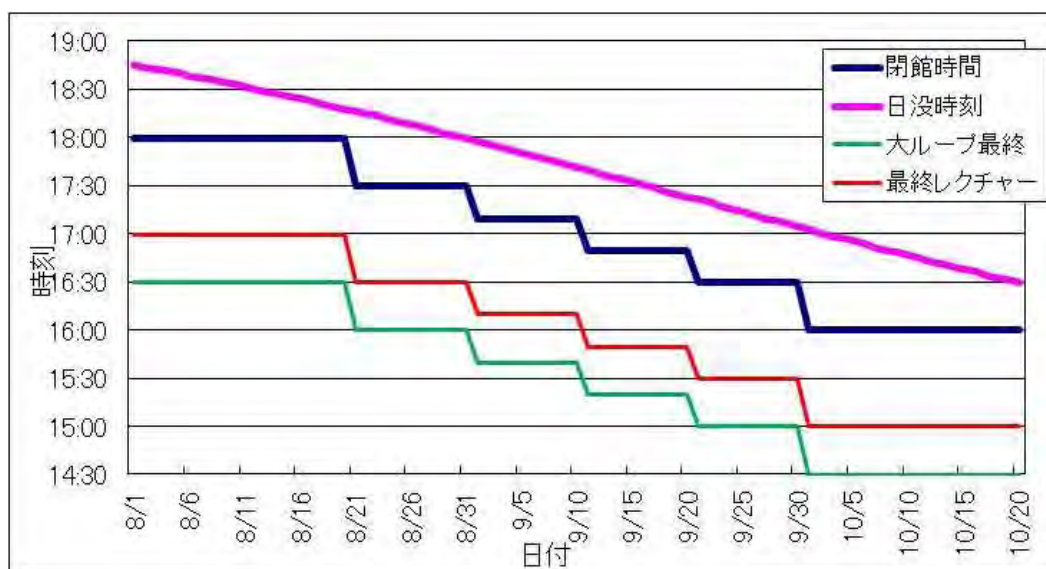
平成 24 年度 知床五湖 F H レクチャー最終時刻と開館時間に関する検討

知床五湖の利用のあり方協議会事務局
指定認定機関 知床財団

1. 平成 23 年度実施状況

日没時刻に併せて、レクチャーの最終時刻と F H の閉館時間を 6 回変更した。また、コースにより所要時間が異なるため、最終レクチャー時刻の 30 分前に大ループを閉鎖し、以降は小ループのみの利用とした。本年度の最終レクチャー時刻とフィールドハウス閉館時間、日没時刻の関係を下図に示す。

期間	初回レクチャー時刻	最終レクチャー時刻		フィールドハウス閉館時刻
		大ループ	小ループ	
8/1~8/20	7:40	16:30	17:00	18:00
8/21~8/31	7:40	16:00	16:30	17:30
9/1~9/10	7:40	15:40	16:10	17:10
9/11~9/20	7:40	15:20	15:50	16:50
9/21~9/30	7:40	15:00	15:30	16:30
10/1~10/20	7:40	14:30	15:00	16:00



2. 評価と課題

1) 安全管理

レクチャーの最終時刻は、日没まで十分な余裕があり、道迷いや日没後の残留などの問題は発生していない。荒天時など早い時刻に暗くなる気象条件にも対応が可能であった。

2) 利用者の評価・クレーム

結果的に大ループは明るい時間帯に閉鎖されることとなり、五湖すべてを巡るニーズが高い現状において、複数の不満やクレームが発生した。また、14時から15時にかけて午後の来園ピークがあり、9月中旬以降は、レクチャー最終時刻に間に合わない利用者も多数発生した。

3) 広報や管理作業が複雑

植生保護期に計6回開館時間やレクチャー最終時刻が変更され、コースにより最終レクチャー時刻も異なることから複雑な設定になっており、広報や問い合わせ対応、指定認定機関の労務管理を含めた運営も煩雑であった。

4) レクチャー遅延

各コースの最終レクチャー時刻には希望者が集中し、レクチャーの遅延がたびたび発生した。

5) FHの閉館時間

団体バスツアーなどは、夕暮れの景色を目的に16時ごろに来園することが多く、多数の利用者が園地にいる状況でFHを閉館する状況が発生した。

なお、開館時刻と初回レクチャー時刻については、現状のままで問題は特に生じていない。

3. 来年度に向けての考え方

1) 利用機会の提供

安全確保を前提としながら、知床五湖の散策を楽しむ実際の来園動向や利用者のニーズに対応した利用機会を提供する。

2) わかりやすい制度と管理作業の簡素化

制度が支持され、より浸透するためには、よりわかりやすい運用が必要。広報や管理作業の労力軽減も期待できる。

3) レクチャーの積極活用

散策の所要時間や日没時間については、口頭レクチャーにおいて確実な情報提供を行うことで安全を確保する。

4. 来園動向や利用者のニーズの分析

1) 来園動向

平成 23 年度の 10 分毎の立入者数の実績値では、8 月 21 日以降の 30 分短縮された期間や 9 月後半の連休などで、一定程度の利用者がある状況で最終レクチャーが終わってしまったケースが見られた。

	8月14日	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日	8月21日	8月22日	8月23日
14:00	22	24	20	20	38	19	12	4	9	18
14:10	22	30	22	35	30	40	11	23	5	23
14:20	21	24	13	23	27	26	26	10	13	13
14:30	24	10	11	18	20	14	7	20	21	22
14:40	33	3	33	31	30	36	21	8	16	28
14:50	43	47	48	20	18	46	32	29	39	15
15:00	24	46	24	39	24	49	23	17	38	21
15:10	35	23	25	46	9	10	17	16	13	17
15:20	16	4	34	47	11	23	7	8	4	7
15:30	28	6	32	35	14	13	19	18	17	2
15:40	29	0	7	22	17	32	13	8	13	29
15:50	17	11	19	18	15	16	18	11	15	24
16:00	1	0	13	10	20	8	18	22	11	1
16:10	11	3	15	15	18	16	19	14	12	9
16:20	26	1	8	19	18	14	4	24	28	7
16:30	27	0	34	14	11	19	29	6	26	16
16:40	13	4	16	27	15	3	3			
16:50	18	3	11	21	8	10	6			
17:00	31	3	15	24	33	11	6			

	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日	9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日
14:00	3	47	9	7	5	20	24	16	10	11
14:10	5	14	6	41	0	19	37	14	11	14
14:20	19	10	4	23	4	39	10	16	14	10
14:30	7	9	4	15	0	49	40	30	43	16
14:40	0	38	15	50	11	47	22	24	39	19
14:50	23	16	13	46	3	21	15	13	18	0
15:00	13	7	20	19	1	21	25	15	43	25
15:10	4	7	10	19		5	9	5	2	8
15:20	14	22	19	43		28	17	6	12	2
15:30	6	8	4	35		29	17	12	20	8
15:40	6	7	47							
15:50	18	4	15							
16:00										

2) 利用者の潜在的ニーズ

平成 22 年度の知床五湖地上遊歩道の立入時間（利用者カウンター計測値）から潜在的な知床五湖地上遊歩道利用ニーズを確認した。下表は平成 22 年 9 月の小ループ・大ループ共通カウンター入の計測値。

表中、赤ラインが平成 23 年度の小ループ最終レクチャー時刻、オレンジラインが大ループ最終レクチャー時刻。グラフが赤色になっているところが、今年度ならば立入ができなかった者となる。

8 月中旬までは小ループ最終レクチャー時刻までに立ち入ることができる状態であるが、8 月下旬、9 月上・中旬では日入 1 時間前、9 月下旬以降では日入 30 分前くらいまで一定程度の新規立入者が存在する。

入場	五湖小ループ・大ループ共通(2010)							
	8.1-10	8.11-20	8.21-31	9.1-10	9.11-20	9.21-30	10.1-10	10.11-20
13:40	135	234	143	577	247	330	145	177
13:50	156	174	162	616	235	381	188	174
14:00	157	230	135	619	293	326	161	267
14:10	159	231	106	670	325	345	147	167
14:20	242	284	276	642	344	298	172	203
14:30	311	335	320	253	352	236	371	145
14:40	276	400	273	339	469	355	249	334
14:50	296	449	251	273	403	398	181	209
15:00	303	283	211	146	330	215	177	81
15:10	355	342	242	303	297	310	223	194
15:20	397	422	539	313	467	315	208	178
15:30	196	334	262	181	380	184	185	276
15:40	252	402	252	322	266	234	174	138
15:50	258	246	191	188	193	307	164	206
16:00	238	236	227	115	375	200	175	62
16:10	240	205	321	167	279	198	103	39
16:20	177	306	135	117	134	166	78	47
16:30	120	221	219	193	86	77	59	12
16:40	199	144	246	113	123	92	28	3
16:50	167	135	116	65	111	87	16	9
17:00	93	100	42	34	31	27	6	2
17:10	32	93	44	14	23	21	0	0
17:20	32	57	35	16	6	5	0	0
17:30	16	34	3	4	9	10	0	0
17:40	6	26	16	0	3	2	1	0
17:50	4	4	2	0	1	6	0	0
18:00	5	3	0	0	0	13	0	0
日入	18:34	18:19	18:00	17:42	17:23	17:05	16:47	16:30

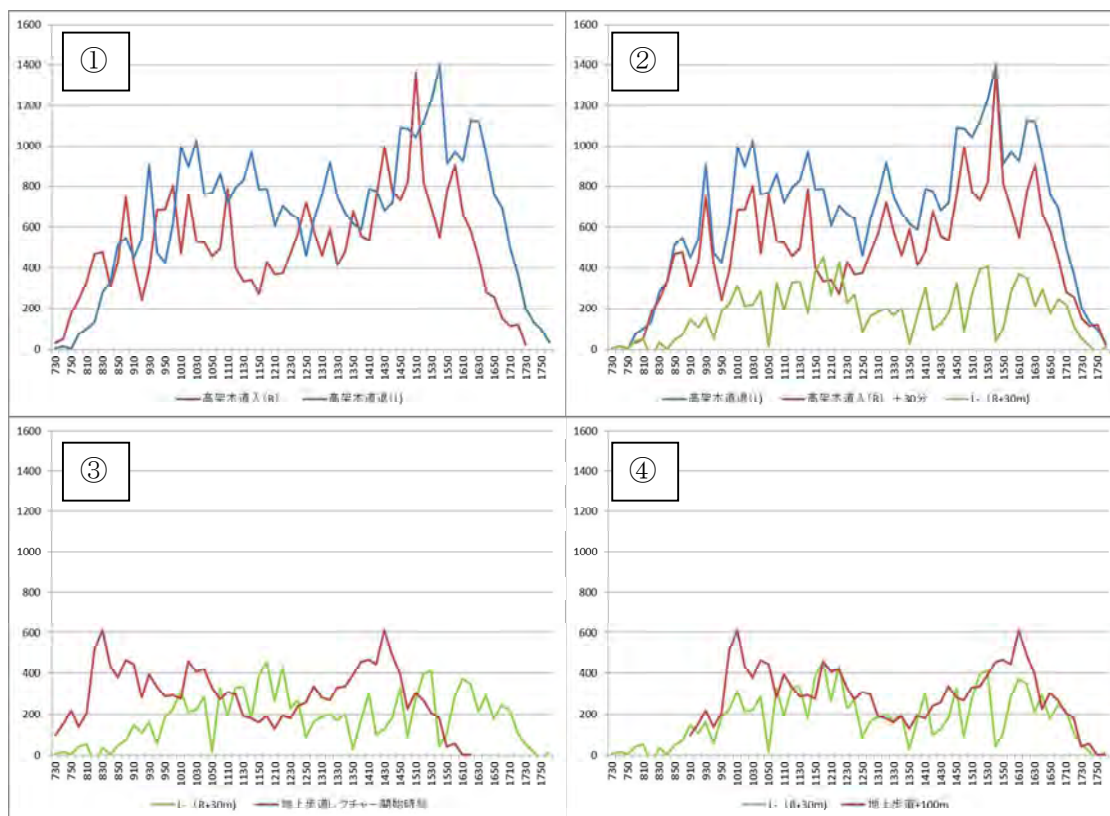
3) 高架木道・地上遊歩道の滞在時間の推定

平成 23 年度の利用者カウンターの計測値から知床五湖の利用者の各歩道での滞在時間を推定し、地上遊歩道利用者のレクチャー開始から高架木道を経由して駐車場まで至る所要時間が平均 100 分と推定された（高架木道のみは平均 30 分）。

- ① 高架木道カウンターより 10 分ごとに立入時間と退出時間をグラフ化
- ② 高架木道立入時間に 30 分プラスすると、退出時間のグラフと近似的な波形となる。
緑のラインは差の分＝地上遊歩道（から高架木道を経由した）利用者の退出数を想定できる波形といえる。
- ③ 地上歩道利用者の退出数の想定波形と、フィールドハウスレクチャー開始時刻毎の立入数のグラフを比較したもの。
- ④ レクチャー開始時刻に 100 分プラスすると近似的な波形となる。

レクチャー時間 (2011 年実績)	13~14 分
高架木道散策時間 (②試算の半分と想定)	15 分
地上歩道散策時間	70 分

レクチャー開始から地上歩道・高架木道経由で駐車場に戻る所要時間が約 100 分
レクチャー終了から駐車場に戻ってくる所要時間が約 85 分=90 分
レクチャー開始から高架木道接続までが 83~84 分=90 分



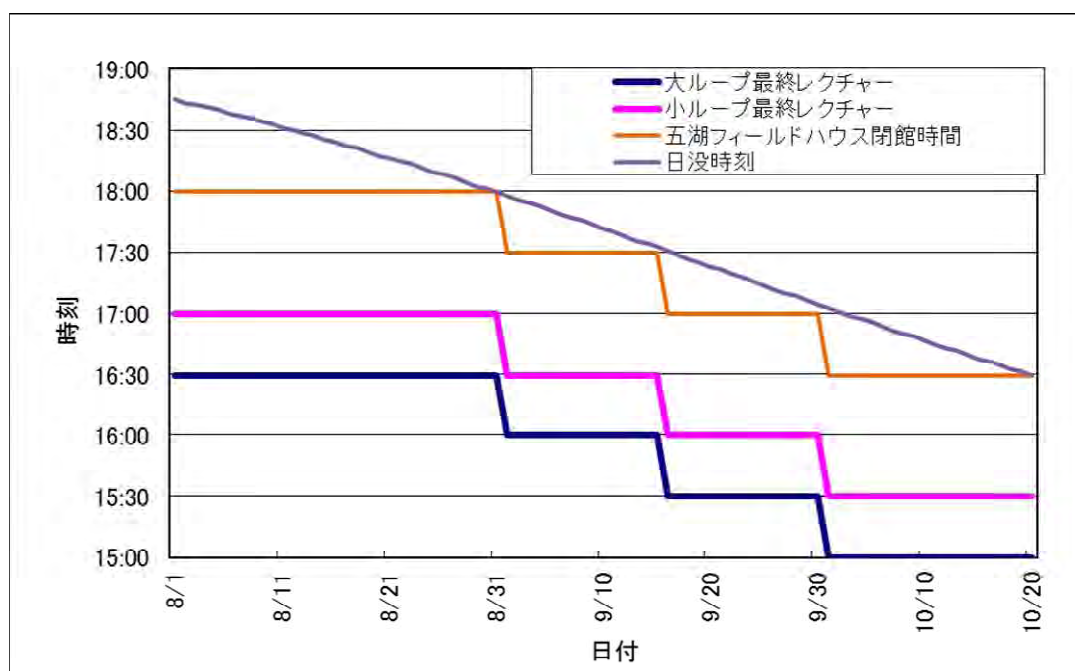
5. 平成 24 年度運用案（植生保護期）

利用機会を広く提供するための努力は必要であるが、一方で、ニーズに全て合わせることで、急いで利用させることを強いることにつながる懸念が残る。自らが安全管理を図り歩いてもらう際の時間的余裕を持たせ、ヒグマ遭遇引き返しのケースで利用者からの通報をフィールドハウスで受けられる時間設定とする。

8 月下旬や 9 月などの利用ニーズが高い時期に対応し、8 月下旬以降の最終レクチャーを 30 分程度遅くし、利用機会を確保しながら、フィールドハウス閉館時刻もそれに合わせて遅くし、利用者対応ができる時間を一定程度確保することで管理も行うこととする。

また、時間変更の段階を 6 段階から 4 段階（8 月、9 月前半、9 月後半、10 月）にしてわかりやすくする。なお、新たに植生保護期に加わった開園から 5 月 9 日までの期間については、開園する 4 月 20 日前後の日没時刻が 18:10 くらいであることから、8 月 1 日から 8 月 31 日と同じ閉館時刻に設定する。

期間	初回レクチャー時刻	最終レクチャー時刻		フィールドハウス閉館時間
		大ループ	小ループ	
開園～5/9 8/1～8/31	7:40	16:30	17:00	18:00
9/1～9/15	7:40	16:00	16:30	17:30
9/16～9/30	7:40	15:30	16:00	17:00
10/1～10/20	7:40	15:00	15:30	16:30



6. 平成 24 年度運用案（ヒグマ活動期、自由利用期）

5 月 10 日から 7 月 31 日までのヒグマ活動期においては、次ページのと通りのレクチャー開始時刻とし、最終レクチャーの組が高架木道へ上がる予定時刻が 18 時 5 分としてフィールドハウスに戻る時間を考慮し、フィールドハウスの閉館時間を 18 時 30 分に設定する。

10 月 21 日から 11 月下旬の閉園までの自由利用期においては、日没時刻と連動したフィールドハウスの閉館時間を設定し、10 月 21 日から 10 月 31 日までを 15 時 30 分閉館、11 月 1 日から 11 月下旬の閉園までを 15 時閉館とする。

期間	フィールドハウス 開館時間	フィールドハウス 閉館時間	日没時刻
ヒグマ活動期 5/10～7/31	7 : 3 0	1 8 : 3 0	
自由利用期 10/21～10/31	7 : 3 0	1 5 : 3 0	1 6 : 1 0 頃 (10 月 31 日)
自由利用期 11/1～11/下旬閉園	7 : 3 0	1 5 : 0 0	1 5 : 4 5 頃 (11 月 25 日)